

精神医学講座

著書

- 1 山田茂人：モノアミンとうつ病．専門医のための精神科臨床リュミエール16・脳科学エッセンシャル - 精神疾患の生物学的理解のために 精神薬理学 212 213, 中山書店・東京 2010．

原著論文

- 1 山田茂人, 井上奈央子, 櫻井斎司, 大治太郎：他科で診断がつかず精神科に紹介された Creutzfeldt-Jakob 病の2症例．九州神経精神医学 56：1, 60 63, 2010．
- 2 *Horikawa H, Kato T, Mizoguchi Y, Monji A, Seki Y, Ohkuri T, Gotoh L, Yonaha M, Ueda T, Hashioka S, Kanba S: Inhibitory effects of SSRIs on interferon- γ -induced microglial activation through the intracellular calcium. Progress in Neuropsychopharmacology & Biological Psychiatry 34: 7, 1306-1316, 2010.
- 3 *Eggan SM, *Mizoguchi Y, Stoyak SR, Lewis DA. (*Equal author contribution): Development of cannabinoid 1 receptor protein and messenger RNA in monkey dorsolateral prefrontal cortex. Cerebral Cortex 20: 5, 1164-1174, 2010.
- 4 楯林英晴：ミルタザピン臨床試験の経験から．分子精神医学 10：3, 252 254, 2010．

総説

- 1 山田茂人：ストレス反応の性差とその対応．日本医事新報 4486, 75 76, 2010．

学会発表

国際規模の学会

- 1 Egami M, Imamura G, Ueki H, Inanaga K, Yamada S: Antidepressant efficacy and reduction of saliva 3-methoxy-4-hydroxyphenylglycol levels in patients with major depressive disorder. 第27回国際神経精神薬理学会議 (CINP 2010). 2010, 6, 6-10. Poster Session P-09.
- 2 Tsuruta T, Tashiro K, Yang C, Ueki H, Matsunaga M, Oku E, Ishikawa K, Tatebayashi H, Matsunaga K, Yamada S: A case report of saliva-TDM in out-patients with depression while receiving paroxetine treatment. 第27回国際神経精神薬理学会議 (CINP 2011). 2010, 6, 6-11. Poster Session P-18.
- 3 Mizoguchi Y, Monji A, Kato T, Horikawa H, Seki Y, Kasai M, Yamada S, Kanba S: Possible role of BDNF-induced microglial intracellular Ca^{2+} elevation in the pathophysiology of neuropsychiatric disorders. 40th annual meeting of the Society for Neuroscience 2010 in San Diego. 2010, 11, 13-19. Poster Y6 767.14.

国内全国規模の学会

- 1 松島 淳：問題の影響を相対化することで改善がみられた解離性障害の一事例．日本ブリーフサイコセラピー学会第20回長崎大会．2010, 8, 26 28．プログラム・抄録集, 36．
- 2 江上真紀, 井上奈央子, 今村義臣, 楯林英晴, 山田茂人：Mirtazapine の抗うつ薬と唾液中 3-methoxy-4-hydroxyphenylglycol (MHPG) 濃度の変化 - paroxetine との比較 - ．第20回日本臨床精神神経薬理学会 第40回日本神経精神薬理学会合同年会．2010, 9, 15 17．プログラム・抄録集, 140．
- 3 植木裕司, 佐藤英俊, 山田茂人：患者の自己決定権を優先しすぎたため家族への症状説明が遅れ終末期の治療が混乱した一症例．第23回日本サイコオンコロジー学会 第10回日本認知療法学会合同大会．2010, 9, 24 25．プログラム・抄録集, 178．
- 4 渡邊 至, 國武 裕, 今村義臣, 鍋田紘美, 石井博修, 古川祐三, 原口祥典, 松島 淳, 小島直樹, 山田茂人：認知機能低下の予見因子としての唾液中 3-methoxy-4-hydroxyphenylglycol の検討．第

32回日本生物学的精神医学会．2010，10，7 9．プログラム講演抄録，156．

- 5 國武 裕，石川謙介，渡邊 至，今村義臣，鍋田紘美，石井博修，古川祐三，原口祥典，松島 淳，菅高一博，村岡稔史，小島直樹，山田茂人：配偶者の有無による前頭葉機能検査の経時的変化の男女差（伊万里市在住健常高齢者の調査）．第29回日本認知症学会学術集会．2010，11，5 7．プログラム・抄録集，159．
- 6 渡邊 至，今村義臣，國武 裕，鍋田紘美，石井博修，古川祐三，原口祥典，松島 淳，小島直樹，山田茂人：認知機能低下予測指標としてのVSRADの有用性．第30回日本精神神経科診断学会．2010，11，11 12．プログラム・抄録集，106．

地方規模の学会

- 1 石井博修，酒見安希子，植木裕司，山田茂人：三環系抗うつ薬により重篤なパーキンソン病をきたした症例．第63回九州精神神経学会 第56回九州精神保健学会．2010，10，28 29．プログラム・抄録集，59．
- 2 藤巻光啓，石井博修，酒見安希子，植木裕司，山田茂人：縊頸による逆行性健忘のために企図事実を忘れた一症例．第63回九州精神神経学会 第57回九州精神保健学会．2010，10，28 29．プログラム・抄録集，55．
- 3 稲葉隆繕，松島 淳，溝口義人，楯林英晴，山田茂人：佐賀大学医学部附属病院における病棟閉鎖化の影響．第63回九州精神神経学会 第58回九州精神保健学会．2010，10，28 29．プログラム・抄録集，78．

その他の学会

- 1 山田茂人：うつ関連障害の性差．熊本県精神病院協会学術講演会．22，7，27．
- 2 山田茂人：精神疾患・精神障害．佐賀いのちの電話相談員研修会．22，9，22，25．
- 3 山田茂人：精神薬理学．久留米大学医学部特別講義．22．7．22．
- 4 植木裕司：治療に苦慮した心因性疼痛の2症例．第1回佐賀痛みを考える会．2010，4，9．
- 5 植木裕司：リハビリテーションの負担によりうつ状態となり疼痛が増強した一症例．第2回佐賀痛みを考える会．2010，10，19．
- 6 植木裕司：低栄養が人のところに及ぼす影響．第9回九州地区言語聴覚士合同学術集会．22，10，9 10．

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	山田茂人	平成22年度科学研究費補助金	基盤研究(C)	高齢者の認知機能を低下させる要因の解析	1,690
講師	溝口義人	平成22年度科学研究費補助金	若手研究(B)	抗うつ薬とBDNFによるミクログリア活性化の制御機序解明・TRPチャネルの関与	2,080
教授	山田茂人	研)学長経費(大学改革推進経費)	佐賀健康科学研究(精神)	ゲノム研究を基盤とした佐賀健康科学プロジェクト	500
教授	山田茂人	厚生労働科学研究費補助金	認知症対策総合研究事業	認知症の実態把握に向けた総合的研究	10,000